



開成営農経済センターからのお知らせ

「水稻肥料(追肥分)」「キウイフルーツ笠紙」の自己取りについて
予約注文(自己取り)をご注文されている方は注文書に記載されている、

令和4年6月5日(日)～ 令和4年6月15日(水) 8:40～17:00

の期間に引取りをお願いいたします。

・「カップ天国」「ラウンドアップ」はお電話にて引取り時期のご連絡をいたします。

技術顧問の日 (園芸相談)	農業の専門家が農作業の相談に応じます。※都合により不在の場合があります。 相談日：毎週月曜・火曜・水曜・木曜・金曜・日曜
お米の日	神奈川県産の玄米を特別価格で販売します。(毎月第2・第4火曜日) ・はるみ玄米(1kg)480円→440円(税込) ・キヌヒカリ玄米(1kg)430円→390円(税込) 6月は14日・28日となります。
棚卸の日	6月30日(木)は棚卸のため、15時に閉店致します。尚、コイン精米機は17時まで営業致します。

回覧中の注文書について

「防鳥網資材」・「草生栽培被覆植物種子」・「稲干ポニー」・「きえ太郎Z(生分解マルチ)」

※お申し込みのお忘れがないようご注意ください。

【水稻苗購入者の方へ】

苗箱の返却は、最寄の支店又は営農経済センターへお願いします。

※返却の際は「水稻苗 苗箱返却表」を添付してください。

※開成育苗センターへの返却は、6月19日(日)午前8時30分～11時にお願いします。

【2022 開成あじさいまつりに伴う交通規制のお知らせ】

あじさいまつり開催期間【6月4日(土)～12日(日)】

昨年同様、グリーンセンター周辺道路にて交通規制が実施されますので、ご来店の際は
ご注意ください。

規制時間帯

平日 (6月6日～10日) 10時～17時

土・日(6月4日・5日・11日・12日) 9時30分～17時

～ 作物管理情報 ～

【う め】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

病害虫防除 6月上中旬（漬け梅に散布）

黒星病・すす斑病 インダーフロアブル 5,000倍 収穫前日 2回 20ml/水100㍓

又は オーシャイン水和剤 2,000倍 収穫前日 3回 50g/水100㍓

収 穫

収穫後の取扱いは丁寧におこないましょう。当たり傷はその時は目立たなくとも後日変色し、出荷先や購入者からのクレームの原因となります。

（梅干用）果実表面の毛じが半分以上脱落し、果面に光沢が出てきた頃になります。

1樹を1度に収穫せずに期間を空けて2回以上にわけ、未熟果は出荷をしないようにしましょう。

【柑 橘】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

病害虫防除 6月中～下旬

黒点病 シマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100㍓

【温州みかん】収穫30日前 4回 【温州ミカンを除く】収穫90日前 4回

ミカンハダニ アタックオイル 又は ハーベストオイル 150倍 666ml/水100㍓

ハチハチフロアブル（劇） 収穫前日 2回 2,000倍 50ml/水100㍓

チャバロザミ 又は

コテツフロアブル（劇） 収穫前日 2回 6,000倍 16ml/水100㍓

（発生園に散布）

摘果 （大津・青島）

大津・青島は大玉果になりやすいので、隔年交互結実をさせてなり込ませます。

表年の樹はこの時期の摘果を控え、10月下旬からの仕上げ摘果で上を向いた極大果だけを摘果しましょう。裏年の樹は7月中に全摘果しましょう。

摘果 （不知火・はるみ）

不知火・はるみは樹冠上部に着果させると樹勢の低下につながります。

生理落果が始まったら樹勢強化の為、樹冠上部1/3～1/4は全摘果し樹勢の強化を図りましょう。

【キウイフルーツ】

病害虫防除 6月～8月

カメムシ発生時 スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 収穫前日 3回 50g/水100㍓

夏 肥 6月上旬

キウイ配合 80kg/10a

初期肥大促進のために重要。着果が多くなる場合は、20～40kg増量します。

摘果 2回以上に分けて摘果しましょう。

・荒摘果 6月上～中旬

奇形・扁平・傷・病害・小玉果を除去。荒摘果はできるだけ早く行くと果実肥大が良好になります。

・仕上げ摘果 6月下～7月上中旬

奇形果・傷果・小玉果から摘果する。1㎡あたり25着果を目標に摘果しましょう。

【く り】

病害虫防除 6月下旬～7月下旬

カミキリムシ類 トラサイドA乳剤 200倍 収穫14日前 1回 500ml/水100㍓

*葉にかからないよう樹幹に散布します。

【か き】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

病害虫防除 6月上旬～中旬

カキノヘタムシガ フェニックスフロアブル 4,000倍 収穫7日前 2回 25ml/水100㍓
 又は ダントツ水溶剤 4,000倍 収穫7日前 3回 25g/水100㍓
 落葉病・うどんこ病 スコア顆粒水和剤 3,000倍 収穫前日 3回 33g/水100㍓

追肥 6月中下旬

柿配合 5kg/1a

摘果

生理落果が終了する7月中旬までに1結果母枝2～3果にしましょう。

【水 稲】

水管理 田植え後、4～5日は水温を保つため深水とします。(掛け流しはしない)

以降は3～5cm前後の深さを保ちましょう。

雑草防除 主な除草体系(例)

通常	一発処理剤(トップガンR1 ^ホ 粒剤など)
雑草多発田	一発処理剤+後期剤(クリンチャーバスME液剤 など)
ノビエ多発田	一発処理剤+中・後期剤(ヒエクリーン1 ^ホ 粒剤、クリンチャーバスME液剤、クリンチャーEW など)
コナギ多発田	一発処理剤+後期剤(バサグラン粒剤 など)
クログワイ多発田	クログワイに効果のある一発処理剤(トップガンR1 ^ホ 粒剤など)+後期剤(バサグラン粒剤、クリンチャーバスME液剤など)
藻類多発田	一発処理剤+モゲトン粒剤

* 水稲の一発処理剤(および初期剤)は、移植後日数の早い時期に散布するよう心がけ、散布後7日間は止め水にし、湛水状態を保ちましょう。

* 水稲除草剤の散布時期は薬剤によって異なるので、ラベルをよく確認しましょう。

【お 茶】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

二番茶の摘採 一番茶摘採から45日後が目安となります。

病害虫防除 ※安全使用日数や周辺の摘採日程に十分留意し防除しましょう。

6月上旬～6月中旬 (二番茶摘採園)

チャノホソガミ

カザワガミ

カザワガミ

チャノホソガミ

コテツフロアブル(劇) 2,000倍 摘採7日前 2回 50ml/水100㍓

※チャトゲコナジラミを対象とする場合は6月上旬に散布する。

チャノホソガミ多発時 カスケード乳剤 4,000倍 摘採7日前 2回 25ml/水100㍓

もち病・炭疽病 オンリーワンフロアブル 3,000倍 摘採7日前 2回 33ml/水100㍓

※新梢枯死症対策として使用する場合は2,000倍 50ml/水100㍓とします。

6月下旬～7月上旬

輪斑病・新梢枯死症 カスミンボルドー 1,000倍 摘採14日前 2回 100g/水100㍓

*剪整枝後、出来るだけ早く(3日以内)散布しましょう。

施肥

一番茶摘採のみの場合 6月下旬 なたね粕 100kg/10a

二番茶摘採を含む場合 二番茶摘採15日前 硫安 40kg/10a

二番茶摘採後 なたね粕 100kg/10a

一番茶の芽出し肥を多く施用した方は、二番茶の芽出し肥を減らしてください。

※農薬名に網掛けがあるものは購入時に印鑑が必要となります。

【6月の野菜管理】

トマト 脇芽かき・摘果

脇芽は早めにかき取ります。特に、果房の下の脇芽は生育が旺盛となり、伸ばしたままにしておくと株が弱るので、見つけ次第全部かき取ることがポイントです。

摘果は第一～第二果房を3～4果に、それ以降は4～5果が基本となります。

ナス 側枝の整枝・摘芯・摘葉

主枝は背丈以上に伸びるので、作業のしやすい高さ（支柱の高さ）に摘芯をします。

収穫開始くらいから主枝の発生部より下の古葉（地際から8枚程度の摘葉）を行い、株元の風通しをよくします。葉の色が褪せているものを主に行いますが、過度な摘葉を行うと樹勢の低下を引き起こすので注意しましょう。

キュウリ 整枝・摘葉・追肥

主枝は1本仕立てとなりますが、子づる（孫づる）は2節で摘芯をします。また、主枝は支柱の肩に届いたら摘芯をしておきます。

摘葉は地上50％程度は風通しを良くして、過繁茂を防止します。（子づるも同様）

追肥は収穫開始以降、10日ごとを目安に追肥を行います。

（一度に多量の施用をせず、降雨前や直後に少量多回数が好ましい。）

たまねぎ 収穫

収穫はよく晴れた日に葉の青い状態で半分自然倒伏したときに行いましょう。

玉が完熟すると葉の根元が急に軟化し、パタパタと倒れてしまいます。玉は太りますが貯蔵性が悪くなるため引き抜いておき、青い葉が完全にしおれてから吊り玉にしましょう。

インゲン 播種

連作を嫌い、酸性土壌に弱いので、石灰は多めに入れて酸性の矯正を行いましょう。

種子は一晩水に浸しておき、2cm程度の覆土で一週間程度の期間で発芽を行います。

播種は一箇所に3～4粒を5月上中旬から7月中旬にかけて随時畑に直播をします。

露地栽培共通

降雨による土のはね返りによる病原菌の付着を防ぐために株元にマルチ等を敷いておきましょう。

農業を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。